

令和5年度高校合同文化祭

「集まれ！！アーティストのたまごたち」 実施報告

1. 実施概要

令和4年4月に施行した八尾市芸術文化基本条例及び八尾市芸術文化推進基本計画（令和4年6月策定）に規定するリーディングプロジェクトの一つである「高校合同文化祭」について、令和5年度は「集まれ！！アーティストのたまごたち」と題し、八尾市文化会館をはじめ市内4か所で、市内6つの高校による作品展示やパフォーマンスを行った。

- 【開催期間】 令和5年11月11日（土）～11月19日（日）
 【開催場所】 八尾市文化会館（プリズムホール）、シルキーホール
 茶吉庵、地域共生空間つながり
 【参加高校】 金光八尾高校、八尾高校、八尾北高校、八尾支援学校 高等部
 八尾翠翔高校、山本高校（八尾市内全6校）
 【主催】 やおうえるかむコモンズ推進会議
 【寄与する施策】 施策② 芸術文化につながる機会の提供
 （主なもの） 施策④ 自由な芸術文化活動のための環境の整備
 施策⑤ 芸術文化を通じた子どもの育み

P7の「11. 施策への寄与」参照

2. 八尾市文化会館(プリズムホール)

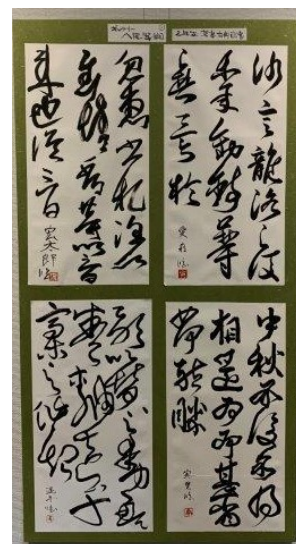
(1) 作品展示：11/12（日）～11/19（日）

- ① 展示場所：1階 光のプラザ及びオープンコーナー、3～5階 回廊ギャラリー、4階 トライアングルロビー
 ② 参加高校：金光八尾高校（美術部）、八尾高校（美術部・書道部）
 八尾北高校（美術部・生活文化部）、八尾支援学校（高等部）
 八尾翠翔高校（漫画研究部・文芸部・美術・書道）、山本高校（美術部）



③ 設営・撤去

- ・ 11/10（金）作品受け取り、会場への搬入
市4人、委員1人
- ・ 11/12（日）会場設営
市4人、委員2人、生徒9人、先生5人
ボランティア（文スポOB）1人
- ・ 11/19（日）会場撤去
市4人、委員1人、生徒9人、先生4人
ボランティア（文スポOB）1人
- ・ 11/22（水）作品返却
市3人、委員1人



(2) 山本高校茶道部によるお茶席：11/18 (土) 研修室

参加者数：20人



(3) 合同パフォーマンス：11/18 (土) 1階 光のプラザ

①参加高校：八尾高校（書道部）、八尾北高校（ダンス部）、山本高校（放送部）

②観覧者数：約50人



【参加した高校生の声】（FMちゃおのインタビューより抜粋）

・八尾高校書道部

書道部は高校の外で活動することは多いのですが、他の高校生たちとパフォーマンスする機会はあまりなかったもので、こういう機会をいただけてとても嬉しく思いますし、本番で今までで一番の出来で書くことができ、とても良かったと思います。

・八尾北高校ダンス部

書道部とダンス部って真逆の部活で、コラボしたらどうなるのかめっちゃ不安だったんですけど、高校生にしかなれないことだし、部活に入っているからこそできることだと思って、すごくいい思い出になりました。

・山本高校放送部

山本高校放送部はそもそも公共の場でパフォーマンスする機会が圧倒的に少なくて、そういう中で八尾市高校合同文化祭という場を作っていただいて、他校の人とコラボさせていただいて、すごくいい経験になりました。

(4) メッセージツリー：11/12 (日) ～11/29 (水)

①展示場所：1階光のプラザ

②参加高校：全6校

③制作・設営・撤去 (コモンズサポーター中心)

部会メンバーの皆さんや文スポOBにもお手伝いいただきました。

・9/12 (火)、13 (水)

メッセージツリーの土台、メッセージカード制作

・9/14 (木) ～11/8 (水) メッセージカードへの記入依頼 (全6校)

・11/8 (水) メッセージツリーの仕上げ

・11/12 (日) メッセージツリーの取り付け

・11/29 (水) メッセージツリーの撤去



3. シルキーホール

(1) 実施日：11/18日 (土)

(2) 参加高校：八尾高校・八尾翠翔高校・山本高校の軽音楽部

(3) 観覧者数：約210人

【八尾高校演奏曲】

- ・ soup / 04 Limited Sazabys
- ・ SWEET TWEET / Official髭男dism
- ・ 天体観測 / BUMP OF CHICKEN など

【八尾翠翔高校演奏曲】

- ・ 怪獣の花唄 / Vaundy
- ・ CHAINSAW BLOOD / Vaundy
- ・ 第ゼロ感 / 10-FEET など

【山本高校演奏曲】

- ・ リカ / SIX LOUNGE
- ・ 葉 / クリープハイプ
- ・ 本当はね、 / ヤングスキニー など

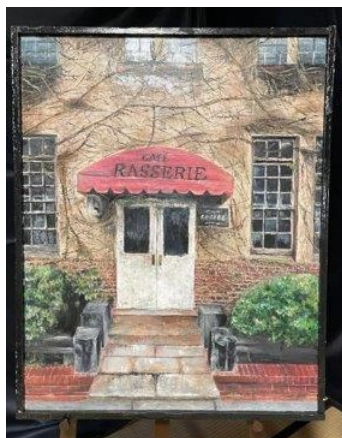


【参加した高校生の声】(アンケートより抜粋)

- ・ 普段聞くことのできない他校の演奏を聞くことができた点が良かった。
- ・ ライブハウスの照明や音響がすごくて圧倒されました。また参加したいです！！
- ・ よい環境で演奏できて楽しかった。
- ・ 出演できてとても楽しかったです。満足でした。
- ・ 俺のベースソロが映えた。
- ・ 他の高校のレベルの高さを知れた。
- ・ 他の高校の方々と交流することができたのでよかった。
- ・ 最高の音、照明で行わせていただいたことがよかった。

4. 茶吉庵

- (1) 作品展示：11/11（土）～11/19（日）
- (2) 参加高校：金光八尾高校（美術部）、八尾高校（美術部）、八尾北高校（漫画研究部）
八尾支援学校（高等部）、八尾翠翔高校（美術）、山本高校（家庭科部・漫画イラスト部・華道部）
- (3) 観覧者数：約80人
- (4) 設営・撤去
 - ・11/10（金）作品受け取り、搬入 市4人、先生4人
 - ・11/17（金）山本高校華道部 花を生けに行く
 - ・11/22（水）会場撤去 市4人、先生2人
 - ・11/22（水）作品返却 市3人



5. 地域共生空間つながり

- (1) 実施日：11/19（日）
- (2) 参加高校：金光八尾高校（吹奏楽部・創作ダンス部）、八尾高校（ダンス同好会）
山本高校（吹奏楽部・和太鼓部・アコースティックギター部）
※八尾翠翔高校 文芸部の作品の朗読映像の放映あり
- (3) 観覧者数：約80人



【参加した高校生の声】（アンケートより抜粋）

- ・色々な学校と関わってよかった。
- ・地域の学校と関わるととても良い機会だと思いました。
- ・他の学校を見て、学ぶことが多かったので参加してよかったです。
- ・他の学校のいろんな発表を見れて、心がおどりました。

6. 各会場での打ち合わせ等

(1) 全体

R5.2月中頃から随時、各高校との調整を開始

6/22 (木) 第1回高校生打ち合わせ

8/2 (水) 第2回高校生打ち合わせ

8/21 (月) ~ 今年度の実施概要の説明及び協力依頼 (全6校)

(2) 合同パフォーマンス

8/31 (木) 八尾北高校ダンス部顧問によるプリズムホール下見

9/28 (木) 八尾高校書道部と文化・スポーツ振興課 打ち合わせ

10/13 (金) プリズムホールで打ち合わせ (書道部・ダンス部)

10/23 (月) 八尾高校でJ:COMの告知番組の撮影 (書道部・ダンス部)

11/9 (木) プリズムホールでの事前練習 (書道部・ダンス部)

11/17 (金) 前日リハーサル (書道部・ダンス部・山本高校放送部)

11月中旬 八尾北高校ダンス部によるSNS用告知動画をやおうえるかむ commons 推進会議メンバーのFacebook、Instagramに掲載



(3) お茶席

9/26 山本高校茶道部顧問によるプリズムホール (和室・研修室) 下見
→実施場所の決定 (研修室)

(4) シルキーホール

11/1 (水) 参加高校のクラブ顧問、生徒による現地での事前打ち合わせ
各校の出演順、持ち時間等を決定。

SNSによる周知依頼。→八尾翠翔高校、山本高校軽音楽部が高校Instagramに投稿。

(5) 地域共生空間つながり

10/18 (水) 参加高校のクラブ顧問、生徒による現地での事前打ち合わせ
各部活の出演順、持ち時間、楽器の運搬スケジュール等を決定。

(6) 朗読映像

10/13 (金) 八尾翠翔高校文芸部、文化・スポーツ振興課 顔合わせ

10/30 (月) 八尾商工会議所会館にて朗読の撮影

11/14 (火) 文化・スポーツ振興課による動画編集作業完了

7. コモンズサポーター

R5年度：金光八尾高校 3人、八尾北高校 2人（うち1人は年度途中で辞退）
八尾翠翔高校 5人、山本高校 1人

- 9/12（火）、13（水） メッセージツリーの土台、メッセージカード制作
- 9/14（木）～11/8（水） メッセージカードへの記入依頼（全6校）
- 10月 チラシのメインビジュアルの制作
- 11/8（水）メッセージツリーの仕上げ、SNS用写真撮影
- 11/12 展示作品の設営、メッセージツリーの取り付け
- 11/19 展示作品の撤去

【参加した高校生の声】（FMちゃおのインタビューより抜粋）

・一番大変だったのはタイトル「集まれ!!!アーティストのたまごたち」を決めること。というのも、初対面の人たちと話し合い、交流する機会があり、自分自身が人見知りであり人と話をするのが得意ではない中で、緊張もしましたが、頑張って自分の意見を出すことができ、成長できたと感じました。他校と関わる機会は本当に少ないので、今回関わらせていただいて、いい経験だったなと思います。

・合同文化祭は他校と色々協力しながら作るものなので、それぞれの学校の文化の違いだったり、来られる方も色々な層があると思いますが、高校生ならではの作品もありますので、高校生らしさやパワフルなところをくみ取ってほしいなと思います。僕らも頑張って作り上げてきましたし、各学校もいろんな思いを持って展示品を飾られていると思うので、ぜひ楽しんで見てもらえればなと思います。

・合同文化祭の展示やパフォーマンスを見て、ちょっとでも元気になってもらえたり、今後の活力に生かしてもらえたらいいなと思います。



8. 協賛・協力

(1) 協賛いただいた皆様（敬称略）

- ・大阪JOINUSライオンズクラブ
- ・茶吉庵（のぼり旗、やおうえるかむ commons バッチ 寄贈）
- ・株式会社LinoPlus（LIFEWORk LABO）
- ・シルキーホール
- ・大久保 充代

(2) 協力いただいた皆様

- ・合同会社BlankMap（コワーキングスペースNuts）
- ・社会福祉法人医真福祉会（地域共生空間つながり）
- ・公益財団法人八尾市文化振興事業団

令和5年度高校合同文化祭 11/11(土)▷19(日)

集まれ!!!
アーティストのたまごたち

各校の作品展示等の詳細はこちら
→ 合同文化祭実行委員会HP

■八尾市文化会館（プリズムホール）
日程：11/12（土）～19（日）
※11/13（月）は休館日
12時～18時（中学生以上）
18時～21時（高校生以上）
※11/18（土）は年割100%の購入必須
※所要 ※お乗換(500円)の購入必須

○制作協力 オールマン
（会場：11/12（土）～19（日）
※11/13（月）は休館日）
※所要 ※お乗換(500円)の購入必須

■シルキーホール
日程：11/18（土）～19（日）
※所要 ※お乗換(500円)の購入必須

■地域共生空間つながり
日程：11/19（日）午前10時～正午（予定）
※所要 ※お乗換(500円)の購入必須

各校の参加内容、各会場の詳細は裏面へ

主催：おおうえるかむ commons 振興会
（事務局：八尾市文化振興事業団）
TEL: 072-924-2909
Mail: kumakomomo@city-yonagoi.or.jp

【おスポンサー】 八尾市文化振興事業団

9. 収支

【収入の部】

(単位：円)

項目	金額	備考
基本計画推進経費	262,874	
協賛金	40,000	・大阪JOINUSライオンズクラブ 10,000円 ・株式会社LinoPlus 10,000円 ・シルキーホール 10,000円 ・大久保 充代 10,000円
合計	302,874	

【支出の部】

(単位：円)

項目	金額	備考
会場使用料	222,339	・プリズムホール（展示4,620円、合同パフォーマンス31,840円、お茶会11,380円） ・シルキーホール 174,499円
備品設備等使用料	1,050	持ち込み機材用電源使用料（合同パフォーマンス350円、お茶会700円）
その他	108,871	・楽器運搬費 77,000円 ・チラシ印刷費 10,115円 ・消耗品費等 21,756円
合計	332,260	

※茶吉庵の母屋使用料等は免除。

※プリズムホールの附属設備使用料のうち、展示パネル・長机分については文化振興事業団が協力負担。

※収入と支出の差額分（29,386円）は、やおうえるかむコモンズ推進会議口座より補填。

10. 広報

- ・チラシ配布（市内公共施設、中学校、義務教育学校、参加高校、やおうえるかむコモンズ推進会議メンバーの劇場公演への同封等）
- ・市ホームページ及びSNS（LINE、X、Facebook）、プレリリース
- ・FMちやお（実施前：市職員による告知、実施後：コモンズサポーター、合同パフォーマンス出演者へのインタビュー等）
- ・J:COM（合同パフォーマンス出演者による告知の撮影）
- ・やおうえるかむコモンズ推進会議メンバーのFacebook、Instagram
- ・参加高校のInstagram

11. 施策への寄与

・施策② 芸術文化につながる機会の提供

八尾市文化会館以外の場所でも実施することにより、身近な場所で、市民の誰もが気軽に芸術文化に触れることができる機会を提供した。



アンケートから抜粋：「太鼓の音につられて家からフラフラとでできました。みごとな音でした。」
「家から観覧にいきやすい場所よかったです。」

・施策④ 自由な芸術文化活動のための環境の整備

地域共生空間つながりでの実施により、発表や創造活動ができる場所の掘り起こしにつなげた。



アンケートから抜粋：「老人施設で演奏させてもらえるのが良かった」

・施策⑤ 芸術文化を通じた子どもの育み

複数の高校によるパフォーマンスにより、参加した高校生が刺激を受けた。また、コモンズサポーターの経験により、生徒の成長につながった。



アンケート等から抜粋：「他の学校を見て、学ぶことが多かったので参加してよかったです。」
「頑張って自分の意見を出すことができ、成長できたと感じました。」

12.次年度に向けて

(1)各高校を回ってのヒアリング

【先生や生徒の感想】

- ・実演も展示も、生徒からはよかったという感想を聞いている。
- ・合同パフォーマンスの本番は楽しかったが、時間が足りずリハが大変だった。
- ・合同パフォーマンスの参加者同士、もっと交流してもっと仲良くなりたかった。
- ・他校とのコラボが初めてで戸惑いもあったし、同じ高校のクラブ間の調整に比べ、調整の面で難しいところもあったが、やってよかったと思う。
- ・合同パフォーマンスに携わった生徒について、これまでの様子から自己肯定感が低いと感じていたが、合同文化祭を経て生き生きしている。その点でもやってよかった。
- ・吹奏楽部や創作ダンス部は地域の小・中学校に演奏しに行くことはあるが、他校と一緒に何かするのは今までなかったので、生徒は刺激を受けていた。
- ・生徒の作品を見ていただける機会があるのはうれしい。
- ・今回は開催時期の関係で、多くの作品を展示できなかった。もっといい作品もいっぱいあるのに、という思いもあった。生徒のポテンシャルはもっとすごいものがあるんだというところを見せたいと思った。

【課題・提案】

- ・早めに日程が決まれば、教員の協力は得やすい。
- ・11月中旬がベスト。12月初旬にテストがある高校が多く、11/20以降は避けたい。
- ・展示については、作品を募集するのもありだと思う。八尾市在住の定時制、通信制、単位制の高校に通っている生徒も対象にできる。
- ・周知に課題がある。町会の掲示板、バスの中吊り広告、近鉄電車へのポスター掲示等、色々やり方はあると思う。
- ・オープニングとして、6校集まって何かやっているところを見せたい。
- ・オープニングセレモニーのようなものは必要だと思う。より多くの人に見てもらうための場所として、アリオ八尾は使えないか。→R6.11.10（日）光町スクエアOKとの返事あり。
- ・アンケートを見ると、展示系は厳しい意見もあるが、人が動くほうが熱量が高まり、見ている人に伝わるものがある。展示系も何かパフォーマンス的なものがあると良い。
- ・教員の働き方改革が言われており、新たな負担となることを管理職として言いにくい。
- ・休日出勤の振り替えについて、平日は授業があるから教員は結局休めない。
- ・休日のイベントに対し、生徒だけに任せることはできないため、教員が関わることは必須。そこで何かあった場合、誰が責任を負うのかあやふやではないか。
- ・府立高校の弱点は生徒も教員も入れ替わっていくことだ。その中で、年度ごとにこのイベントの規模感が異なることは許されるのか。そこは誰がコントロールするのか。学校の行事であれば学校側がコントロールするが、合同文化祭の場合はどうなるのか。
- ・高校合同文化祭と銘打つと、市内6校に限ることになり、各校の負担感が大きくなる。わが校は出ませんという選択肢がありうるのか。今の状態で不参加というのはすごく目立つ。
- ・市内6校に限らず、他市の高校に通う八尾市在住の高校生に門戸を広げるのも良いのでは。
また、中学校や大阪経済法科大学にも入ってもらえば母数が大きくなり、1校当たりの負担が小さくなる。
- ・やりたい気持ちをサポートする形なのか、枠が決まっているところにピースを当てはめていくような形なのかで大きく違う。やりたいことをサポートする形でやってほしい。今は最初に枠を決められ、そこに当てはまるよう調整している形だと思う。
- ・高等部は美術の先生が一人しかおらず人員の余裕はない。中等部まで対象が広がると、人員の余裕はできる。
- ・他校との交流ができれば一番良いが、現状は手を広げられない。
- ・合同文化祭に向けて、作品を共同制作することが取り組みやすいかなと思う。

(2)高校生による振り返り会の開催 @コワーキングスペースNuts

①2/5 (月) KPT法によるワークショップ (Keep、Problem、Try)

【Keep】よかったこと、今後も継続したいこと

- ・他校との交流、合同パフォーマンス、コラボで仲良くなった、他校の様子・レベルを知ることができた
- ・全高校の参加、いろんな作品に触れる
- ・会場がたくさん増えたこと、思ったより多くの方が見に来てくれた、他のクラブの子から他会場の良かったところを聞いた
- ・メッセージツリーを作る、J:COMの広告番組

【Problem】改善点

- ・事前準備：展示の段取りを考える、準備期間が短かった、練習場所の確保、パフォーマンスを一から一緒に作るとか、もっと時間をかけての準備
- ・広報：人を多く呼ぶ、高校の生徒にもっと宣伝すべき、身内だけじゃなくもっとたくさんの人に見に来てほしい
- ・高校生同士のコミュニケーション：高校ごとの温度差（特に展示系）、サポートメンバーの人員確保、コモンズサポーターの定期的な集まり、事前の顔合わせが欲しかった、生徒同士で連絡を取りたい、他の高校との交流が少なかった、コミュニケーションをもっととる、打ち合わせ時間の確保
- ・その他：会場間の交流が少なかった、企画内容の検討、安全確保、情報共有の仕方

【Try】今後挑戦したいこと

- ・全高校参加・合同パフォーマンスは継続・他の高校と仲良くなる・定期的な集まり
- ・広報をもっと頑張る。（来てほしい層、例えば中学生や同い年の子に周知できる宣伝方法を考える。J:COMは高校生はあまり見ていない。）
- ・生徒会主導で全生徒に事前アンケートを取る
- ・もっと色々な部活が参加してほしい。運動部も、空手や合気道部が型を披露するとか。
- ・地域を巻き込みたい。
- ・企業に対し、クラウドファンディングで高校生がその企業のCMを作って、待ち時間に流すとか考えられる。企業とコラボしたい。
- ・広報は学校のInstagramを活用する。
- ・各学校の伝統（例えば、八尾高校のえっさっさ等）を他校が体験する。
- ・中学校に高校合同文化祭のPRに行く。その時にいろんな学校の生徒で一緒に行き、それぞれの学校のPRも同時に行う。八尾翠翔高校は存続の危機にある。

②2/16 (金) 今後のスケジュールについて

R6年3月から11月の高校合同文化祭当日までの間で、広報、企画、調整といった分野ごとに、いつ頃どんなことをする必要はあるか話し合った。

【最優先に取り組む必要があること】コモンズサポーターの増員

【すぐに取り組めること】

- ・コモンズサポーターの日程共有のライングループとは別に、雑談ライングループの作成
- ・3月の打ち合わせ時にボードゲーム大会を開催し、高校生同士の親睦を深める。

